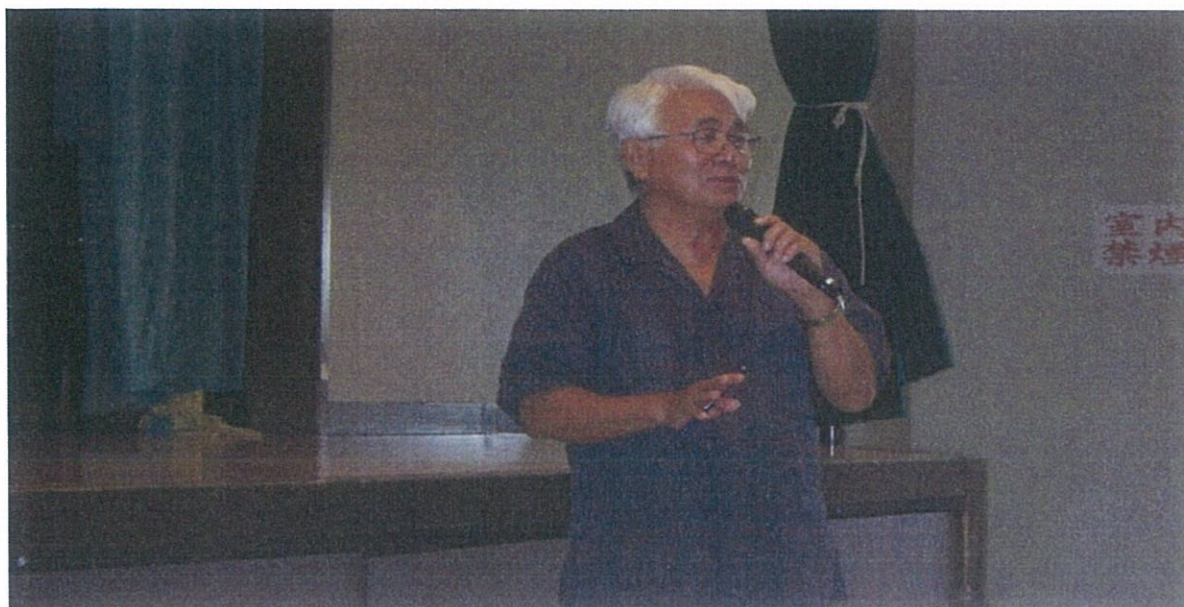




発表者の写真

環境保全型農業生産方法による自立農家を目指して
農業生産法人 (有)石垣島ファーマー
代表 入嵩西正治

環境保全型農業生産方式 による自立農家を目指して

石垣、循環型農業研究会
石垣島ファーマー

入嵩西 正治

スライド1

家族で農業を行っています。

平成8年に石垣島で開催されたサンゴホールラムに出席し、石西礁湖の360種以上のサンゴ保全の必要が言われました。

そこで、サンゴへの影響として赤土や肥料が原因のデータが示されました。昔、私の祖父や父はアオサを畑の肥料として利用しており、農業も海との関連があります。

また、八重山地域には観光は重要であり、サンゴの保全は八重山地域には必要であります。

そういうことで、出発した農業について話します。

は じ め に

- ①八重山地域の主な産業
 - ・農業&観光産業
- ②近年の自然風景と海の変化
 - ・農業の視点を変える機会
- ③土壌流出防止は土壌保全
 - ・圃場の有効利用
 - ・グリーンベルト
- ④海の富栄養化防止
 - ・肥料の節約
 - ・土壌改善

スライド2

八重山地域は、観光と農業で成り立っています。

しかし、自然風景がサトウキビやパインアップルの畑により変化し、赤土で海も変化しています。

そこで、赤土流出を防止する農業として、グリーンベルトによる景観保全や肥料の節約による土壌改善する農業を、サンゴホーラムをきっかけに始めました。

農業生産の利益向上→自然環境保全



スライド3

農業生産の利益向上がサラリーマン並になれば、自然環境保全は困難と考えました。
どのような農作物が可能性があり、どのような生産技術が必要かを考えてみました。

10a 当りの生産指数 (表 1)

作物	経費 (千円)	生産額 (千円)	生産指数	年当り栽培回数
1.サトウキビ	199	205	1.03	0.5回
2.カボチャ	330	672	2.04	2.0
3.スイートコーン	498	950	1.91	2.0
4.キャベツ	228	308	1.35	2.0
5.大根	154	180	1.17	1.0
6.トウガン	650	199	1.33	1.0
7.スイカ	199	300	1.51	1.0
8.ジャガイモ	220	300	1.36	1.0

※経費は有機資材を用いた値である。

※生産指数は生産額×1/経費×100で示した。

スライド4

この表は、有機栽培での各農作物の経費や生産額を調べたものです。
そこで、一番に生産指数が高いのがカボチャでありました。